

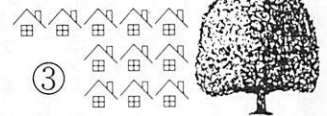
阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまわりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくりまします。



最前線

まちづくり



ゆかた姿やすげ笠姿……町盆踊り大会
白河音頭などにぎやかに

井関も阿知須も一緒に踊ろう……。
阿知須の盆踊り総おどり大会実行委員会（委員長山本輝義農協組合長）では、八月十八日に阿知須小学校運動場で町内全体の盆踊り大会を開きました。

これは町制五十周年に合わせて、町内各地区の盆おどりの締めくくりの大会とすると同時に郷土の伝統芸能の継承ということで初めて催したものです。当日は、ゆかた姿やすげ笠姿など大人も子どもも夕涼みがてらという雰囲気、約千人が集合。

山本実行委員長のあいさつのもと、さっそく子ども達や婦人など全員でやぐらを三重に囲んで「パーマン音頭」と「平成音頭」を踊りました。最後は全員で「白河音頭」を踊り締めくくりました。また、岩倉地区の踊りの後花火を打ち上げ、会場を盛りあげました。

続いて、岩倉地区が「三太馬子唄」、井関地区が「平佐くどき」、阿知須浦地区が「いろはくどき」を地元の人々のくどきで披露。他地区の人も踊りの輪に入りみんな楽しそう。

9月中旬に着工へ：健康文化センター

二階建て、来春オープンめざす

商店街活性化対策事業として中小企業庁の全国初の指定を受けて整備する「健康文化センター」は九月七日に入札、中旬ごろ着工します。

建設場所は町内二の宮地区の国道バイパス近くのコミュ

ニティ・マート計画地内。田を約一畝盛土して三千二十平方メートルの敷地内に二階建ての建物をつくり、来年春からの使用をめざしています。

事業主は財団法人阿知須まちづくり財団（飯田宏史理事長）です。同財団は町と商店街事業協同組合（野村大象理事長）が五百万円ずつ出し合

い、県知事の許可を得て設立した公益法人。こうして地方公共団体と民間団体が結んで設立する法人を「第三セクター」といいます。

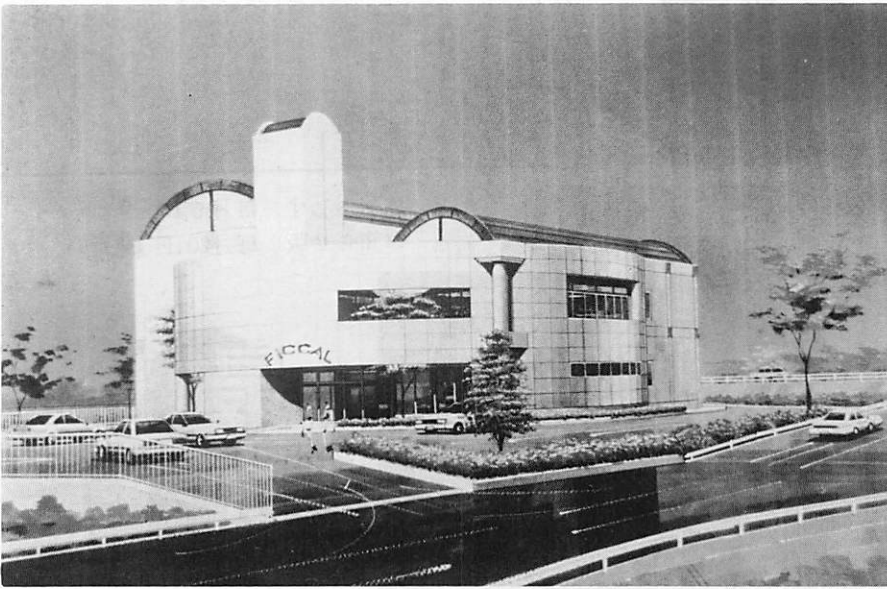
建設はアスレチック・ジムや多目的ホールなど。建物は鉄筋コンクリート造二階建て（一部鉄骨造）で、建築面積は八〇・五六平方メートル。床面積は一階が七六七・八七平方メートル、二階が七三三・五六平方メートル、合計一五〇五・四三平方メートルとなっています。

施設は一階部分にエアロビクススタジオ（九四平方メートル）やアスレチック・ジム（一六二平方メートル）事務所、プロショップ、ジュースバーなどが入り、その他、男女ロッカー室などを備えています。

町民からの借入れ（ボンド）など予定されています。建物の概要は次のとおりです。

特にスタジオはフィットネス講座（エアロビクスやヨガなど）やカルチャー講座（社交ダンスなど趣味講座）などを設け、気軽に参加できる講座を用意することになっています。また、アスレチック・ジムは健康管理の中心施設として健康器材を備え、体力・健康測定や専門家による指導など行われます。

二階部分には二百六十人収容の多目的ホール（三四七平方メートル）や研修室一・二、和室などを配置。多目的ホールでは、イベント・展示会場、各種会議場、地域コミュニケーションの場としてさまざまな利用方法が考えられています。駐車場敷地は五四〇平方メートルで四十三台の車が駐車可能です。



健康文化センター完成予想図

建設資金の一部は町民ボンドで

募集は12月から来年2月まで

健康文化センターの建設資金は、国や市中銀行の借入金（約五千万円）のほか、その一部（二千五百万円）を町民から借り入れる町民ボンド（債券）を採用することになっています。

このボンドは、町民のみならず、市民や事業者などから出資をいただくとともに、町民のみなさんによって自分たちの施設であるという認識と愛情で関心を持っていただくためのものです。五年後に返済することになります。しかし、この返済

町民ボンドの詳細は次のとおり。

町民ボンドの募集は12月から来年2月まで。募集期間は平成二年十二月一日から平成三年二月二十八日まで。

建設費、その他開業までに要する経費は約四億六千万円。そのうち中小企業高度化資金（二十年償還無利子）が約二億七千万円。国・県の補助金八千万円。その他は町・商店街事業協同組合の負担や

町民ボンドで募集は12月から来年2月まで。募集期間は平成二年十二月一日から平成三年二月二十八日まで。

補助金要綱を作成

海外研修で広く人材を育成

町では海外研修で国際感覚を身につけ、広く地域に役立つ人を育てるために「阿知須町海外派遣研修補助金交付要綱」をつくりました。

補助金の交付対象は、町内に住んでいる人で、年齢は十五歳以上五十歳未満。将来地域や職場で活発な活動が期待できる人。ただし、学生と町職員は対象外。

②本町の産業、教育、スポーツ、文化などまちづくりに関するもの

③研修期間は五日以上で、研修後は町長に文書で報告。その他、会議などで成果発表。

④補助金の額

旅費や滞在費などに要する費用で、町長が認めた額の三分の二。ただし、五十万円が限度。

補助金はふるさと創生資金を基金として積み立てており、その利息でまかなわれます。

⑤申し込み

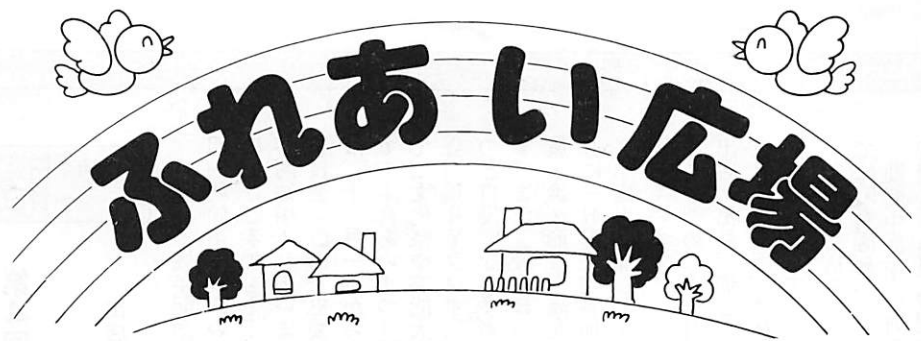
この制度を利用したい人は申請書を研修の概ね三か月前までに提出すること。申請書は総務課にあります。

⑥審査

申請があった場合、町の助役や課長らで構成する審査会で協議決定します。

⑦問い合わせ

町総務課へ。



「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画課（有線二一四四）へお寄せください。



「私の未来の道」で

小中学校特別賞を受賞

古川 穂さん

(阿中二年・浜表)



「題は『私の未来の道』とあっていいと思うから」
—— 作文の内容は

建設省が「夢ロード21」と題して、さきに新しい道づくりの夢やアイデアを募集した中で中国地方賞の小中学校特別賞を受賞。応募総数は全国で七千三百五件、中国地方で百七十八件。応募した動機は

「学校の掲示板に募集のポスターが貼ってあったので、出してみようかなと思い、個人的に応募しました」
—— イラストとか絵の部門もあったのに作文にしたのは「自分にとっては、作文の方が

短歌

藤重 幾代

母の着物で作りしスーツさもあらばあれ戦後おしやれの一つ喜び

藤重 アヤ子

始めての二人の旅に心はずみ夫より先に機上の人となる

中本 幸枝

暑き陽を背に受け乍ら畦草を刈り居りすでに稲穂出揃ふ

松尾 君代

「内容は『私たちが社会人になる二十一世紀には科学がさらに発達し、それにつれて道路も変わっていくと思います。より安全な道路でなくてはならないと思います。そこで、信号と同じ役目のものがあってもいいの

花火見し昨夜の窓は閉めてあり今踊り山解かるる刻か

益弘 吾一

畑仕事に疲れて家に帰り来れば茄子焼くる匂ひに心たらへり

桜井 文子

ズボンの裾を捲くりて素足にミシン踏む厚きカーテン地に力こめつつ

渡辺 宮子

ま夏陽の照り返すなか降園児の汗にまみれし手を引きてゆく

砂村 ヤス子

初盆を迎える人のこと思ひ草取

ではないか、ということですが。私が考えたのは交差点の停止ラインまでの十メートルまでの道路が信号と同じ色になるとよい。つまり、信号と道の色が同じになることです。そうなれば、道の暗いイメージも変わるし、大人も子どももみんな信号を守るようになる」ということです。ほんとに実現したらいいと思います」

現在阿知須中学校二年生。ブラスバンド部でトロンボーンを担当している。



〈町へ〉

◇広報送料▽八坂昭子さん(横浜市南区別所三一二三三三三三)

居ればうぐいすの鳴く

三住 清子

歌詠めば心なごみてありし日の楽しき思出今もつかげぬ

田頭 フテ

花器に鬼百合なでしこ活けたれど次第にしおれ散りてさみしき

村田 ウメノ

久々のめぐみの雨もたりもせず又照りはじめ暑き日日なり

宮原 ツネ

小倉にて終戦むかえ乳のみ子をつれてのがれし暑き日おもう

町内の小・中学校を清掃

町老人クラブ会員

町老人クラブ連合会(岡村牧恵会長)は、八月二十日を町独自の「社会奉仕活動の日」と決め、毎年一回町内の小・中学校の清掃をしています。

ことしも八月二十日、日照りの中を会員千三十人のうち約三百人が阿小、井小、阿中に分れて校庭やグラウンドの草取りなど奉仕の汗を流しました。今回は四回目でしたが「私たちがお役にたつなら……」と報恩感謝の念の多い人たちが多く、



ていねいな作業ぶり。お陰で校庭はきれいになり、九月一日から子どもたちは気持ちよい一学期のスタートをきりました。

トラル化学社宅C16)

◇寄付(合同納骨塔へ)平野一雄さん(宇部市西岐波区西片倉)

◇町社会福祉協議会へ)

◇香典返し▽西村勲さん(砂二)は母アキノさんの▽森田正男さん(浜)は母久代さんの▽上田繁雄さん(仙在)は妹百合子さんの▽中川義孝さん(河内)は

長男博文さんの▽山本謙助さん(南祝)は母安子さんの▽大田功さん(向井関)は母アサ子さんの◇篤志▽匿名

▽匿名20回▽江本小夜子さん(東)▽飛石地区夏祭り友愛セールの一部を▽田辺孝子さん(築地)

重永恵美 長女光正 8・15 浜

死亡(ご冥福をお祈りします)



(八月二十四日受付分まで)

出生(おすこやかに)

子の名 続柄親の名 月日 住所

西田夏姫 長女 光 7・20 砂三

松永拓也 二男 元彦 7・28 井関

藤重知佳 長女 光男 7・30 岩辻

縄田一輝 長男 見吾 8・2 東

河村幸司 長男 達雄 8・13 南祝

佐藤 ルノ 7・25 91 井関

兼重 佳昭 7・28 49 杖川

益富 勇 7・30 77 河内

中川 博文 7・30 7 河内

辻野 藤子 8・1 78 東

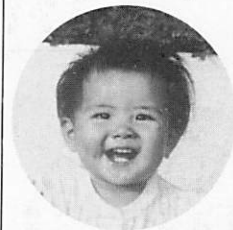
武永 ツキ 8・5 101 沖の原

牧野フウマン 8・8 86 岩西前

村田 さい 8・10 96 沖の原

中村 光 8・11 98 旦西

あきよちゃん ハート



「1歳になりました」
中村 秋世ちゃん
(野口)
(平成1年8月12日
生まれ)
中村 彰臣・
靖子さん二女

おしらせ

11月1日
~11日

第4回 ふれあいまつりは

町制50周年記念協賛で

出店希望団体 10月1日までに申し込みを

町制五十周年記念協賛「第
四回阿知須ふれあいまつり」
にぜひご参加を……。

阿知須ふれあいまつり実行
委員会(飯田宏史委員長)で
は、十一月一日から十一日ま
でをふれあいまつり期間とし
て、文化祭や芸能大会、映画
会、KRYラジオ、カラオケ
のど自慢など多彩に催しま
す。また、最終日の十一日は
農・漁・商など産業関係を中
心に一般市民の参加を得て、
より盛大な催しとなるよう計
画しています。

このため、十一月十一日に
出店、出品、催しなどを希望
される事業所、団体、グルー
プを募集します。

参加申し込みは十月一日ま
でに町企画課へ。
期間中の十一月三日には
町制五十周年の記念式典も

これに合わせて例年ない多
くの参加が期待されます。ま
た、この期間に町内で行われ
る行事は「ふれあいまつり参
加行事」として扱われること
になります。事務局は町企画課
(☎四一三)です。お問
い合わせは同課へどうぞ。

給食センター

職員を募集

受け付けは9月29日まで

町では給食センターの調理
員(正職員)を募集します。
▽受け付け 九月四日(火)
から二十九日(土)まで。時
間は午前八時半から午後五時

まで(土曜日は午後零時半ま
で)。ただし、日曜日・祝日お
よび第二・第四土曜日は除く。
▽募集人員 一人
▽受験資格 昭和四十二年四
月二日から四十八年四月一日
までに生まれた人
▽一次試験 十一月四日
▽採用予定日 平成三年四月
一日
▽受験手続き 受験申込書は
町総務課にあります。郵便で
請求の場合は、宛名を明記し
た返信用封筒(定形)に七十
二円切手を貼って同封のこと。
▽問い合わせ先 町総務課
(☎四一一)

「豊かな心を育てましょう」

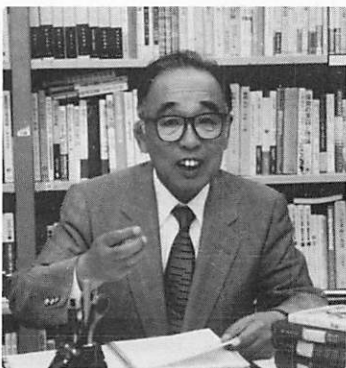
10月7日に町公民館でつどい

町では町制施行五十周年記
念事業の一つとして十月七日
(日)午後一時半
から町公民館で
「ふれあい家庭教
育のつどい」を開
きます。

講師は東京・大
妻女子大学教授の
昌子武司氏(しよ
うじたけし)。

演題は「豊かな心
を育てましょう」。

昌子教授は児童心理学を専
攻。テレビや各地の講演会で
もユーモアたっぷりに温い話
し方をされるので人気のある



昌子武司先生

が育まれると情操が備わる。
情操の豊かな子は感受性があ
るから人生に目標をおくこと
ができ、いろいろなことに意

欲を感じ努力する」と説き、
自分の体験をもまじえての話
が予定されています。

講演時間は二時間です。こ
の二時間の話を聞かれるかど
うかでああなたの家庭、あなた
のお子さんの人生が変わるかも
しれません。特に夫婦そろつ
ての聴講を歓迎します。入場
無料です。

(講師の略歴)
早稲田大学大学院心理学専
攻卒。東京都立教育研究所員
米アイオワ州大学児童精神医
学センター客員研究員、国立
特殊教育総合研究所研究室長
大妻女子大学児童学科および
大学院教授。大正14年生まれ。
著書は「学習意欲」「東海道
を馬で行く」など多数。

| 人の動き | メ | モ | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 町民カレンダー 9月 |
|---|-------------------------|----------|----|----|----|---|----------------|--------------------|----------------------|----|----|----|---------------|---------------------------|-------------------------------------|-------|---------|-------------------------|----|----|----|-------------------------------------|---------------------|---|---------------------------|
| 住民登録 (平成2年8月31日 現在) 人口…8,328人 (男…3,856人) (女…4,472人) 世帯…2,454 昭和60年国勢調査 (人口…8,407人) 世帯…2,334) | 環境衛生週間 (9月24日~10月1日) | 阿小・井小運動会 | | | | 高齢者大運動会(体育センター前広場、前9時半) 機能訓練(公、後1時半) | 乳幼児衛生教育(役、後1時) | 同和教育指導者養成講座(公、後2時) | 町内球技大会(阿中グラウンド他、前8時) | | | | 予防接種(阿中、後1時半) | 心配ごと相談(社会福祉センター、前10時) 風しん | 婦人学級(公、前9時半) 同和教育指導者養成講座 (公、後2時) | 阿中運動会 | 北方八幡宮例祭 | 三種混合(役、後1時半) 敬老会(公、前9時) | | | | 同和教育指導者養成講座(公、後2時) 育児相談(役、 後1時半) | 親子読書(公、前10時) 町議選投票日 | | (役…公民館 体…公民館 体…公民館) |
| 8月の動き | 納税 | 国民健康保険税 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出生…5人 死亡…6人 転入…18人 転出…14人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

住みよい環境を… 9月10日「下水道促進デー」 本町はことし着工

九月十日は「下水道促進デー」です。快適な居住環境を実現し、公共用水域の水質の汚れを防ぐための公共施設の建設など下水道の整備促進を訴えています。

本町では本年度から第一期事業（事業年度〓平成元年度から十年度まで）に着手、すでに砂郷地区で工事中で、平成七年には一部の地区で下水道の利用ができるようになる予定です。

そこで、下水道について理解をさせていただくために「下水道のはなし」に触れてみましょう。

なぜ下水道が必要なのでしょう

ようか
下水道は美しい自然と快適な生活環境を守るために成果をあげており、主なものとして次の四つがあります。

①川や海がきれいに
家庭污水などが川や海に直接流れ込まなくなるため、水が汚れたり悪臭を放つことがなくなります。

②水洗便所が使える
浄化槽がなくても水洗便所が使えるようになり、衛生的で快適な生活ができます。

○大雨が降っても浸水しない
大雨が降ると浸水するようない場所でもすぐに排水できるため、水たまりや滞水が



なくなり、浸水から住民の生命や財産を守ります。

○街がきれいに
蚊やハエなど害虫の発生を防ぎ、伝染病の予防になったり、街の中が清潔になります。

れている人は、ぜひこの機会をご利用ください。

▽日時 九月二十三日(日) 午前九時から正午まで(雨天決行)

▽会場 山口維新百年記念公園第二駐車場(山口県児童センター前駐車場)〇八三九〇二七五四

▽対象 原則として生後三か月未満の子犬。また、譲り受ける方は責任をもって飼うことのできる大人に限りです。

当日は犬に関する相談コーナーも設けます。

問い合わせは 町保健衛生課(〇六四一三)へ。

国勢調査のはなし③

国勢調査の実施日「十月一日」が近づきました。調査内容などについてはすでに広報七、八月号でお知らせしており、九月下旬に調査員(町職員)が各戸へ調査票の記入のお願いにまいります。

そして、十月はじめごろ調査票を集めに伺いますので記入をよろしく願います。

▼国勢調査についての質問

問 国勢調査は何に基づいて行っているのか。
答 国勢調査は国の最も基本的な統計調査として「統計法」という法律に基づいて行われ

ます。この法律により調査員など調査関係者は、記入された内容を他にもらしたり、統計の目的以外に使用することは固く禁じられています。

問 調査員はどのようにして選ばれるか
答 調査員は町長の推薦に基づいて総務庁長官が任命し、非常勤の国家公務員として国勢調査の事務に従事します。本町の調査員は町職員があたります。

問 提出した調査票はどう扱われるのか
答 提出された調査票は町、県を経て、すべて総務庁統計センターに集められ、厳重に

さて何人?

国勢調査で予想クイズ

〔県〕
県では国勢調査の実施にあたり「山口県の総人口は何人の?」の予想クイズを募集します。

▽応募資格 県内に住んでいる人

▽応募方法 官製はがきに平成二年十月一日現在の予想人口を算用数字で記入の上、住所、氏名、年齢、電話番号、

職業または学校名を明記のこと。はがき一枚につき一件とし、枚数の制限はなし。

▽締め切り 九月三十日

▽賞金 一等：五万円(二人) 二等：二万円(二人)、三等：三千元(十人)、応募者賞：記念テレホンカード(五十人)

▽あて先 〒七五三 山口市滝町一番一号、山口県企画部統計課内国勢調査山口県人口

予想クイズ係(〇八三九〇三二一)内線(三三九二)。

※ヒント 昭和六十年国勢調査人口〓百六十万一千六百二十七人、平成元年十月一日現在推計人口〓百五十八万五千一百一人。

〔町〕
町でも「阿知須町の人口は何人か?」の予想クイズを募集します。

▽応募資格 町内に住んでいる人、または職場のある人

▽応募方法、締め切り 県募集と同じ

▽賞品 的中者全員に記念品。的中者ない場合は、近い人から三人に記念品。

▽あて先 町役場企画課内国勢調査担当



国勢調査

平成2年10月1日(月)

総務庁統局・山口県・阿知須町
数字から 描く日本の ゆめ・みらい

公民館だより



▲砂場で休憩
海に親しむ水泳教室

9月中旬に4回開講 同和教育指導者講座

町教育委員会では今年度の同和教育指導者養成講座を9月中旬に四回開きます。「修了証」をまだ受けておられない人は、ふるってご参加ください。

講義内容、日程は次のとおり。

▽九月四日(火)
「同和教育解決の方向―実態から学ぶ―」(防府市同和教育推進委員・竹村勝美氏)

▽九月十一日(火)
「同和教育の歴史的背景(1)―江戸時代以前―」(山口市教育委員会指導主事・江口七郎氏)

▽九月十八日(火)
「同和教育の歴史的背景(2)―明治時代以降―」(山口市教育委員会指導主事・江口七郎氏)

▽九月二十五日(火)
「同和教育の本質―同和教育は今―」(宇部市社会教育指導員・宮本誠氏)

歌って踊って
楽しいキャンプ
あじすっニインときわ

町教育委員会は八月七、八日、町内の小学校四年生以上を対象に「つべときわ少年キャンプ場」でキャンプをしました。

参加者は三十余人。常盤湖畔で五班に分かれて、協力し合っテントの設営や野外炊事を体験しました。

愛のこもった

「おやつ」作り
乳幼児学級

乳幼児学級では八月一日に栄養士の梅田明子さん(西条)を講師に招いて、「子どもの喜ぶ「おやつ」作り」をしました。

母親の愛情のこもった「おやつ」は心豊かな子が育つということ、受講生も一生懸命のお勉強。献立表を見たり、講師の説明を聞いたり、仲間と一緒に楽しくおやつ作りを体験しまし



会場は、阿知須町公民館大会議室。時間は、いずれも午後二時から四時まで。

町内球技大会
日時 九月二十三日(日)
午前八時開会
場所 阿中グラウンド他

キャンプファイヤーでは、指導者のギター伴奏にあわせて歌って踊って楽しい夕べを過ごしました。



各種大会の成績

- ▽子ども会スポーツ大会(8/5、町子連、町教委主催)
- ソフトバレーボールの部
- 寺浜・二の宮②砂郷③縄田
- 三代ゲートボールの部
- ①飛沖B②飛沖A③岩倉A
- ▽近郷家庭婦人バレーボール大会(8/26、町体協、町教委主催)
- 小郡ふしのクラブ(小郡町)
- すみれクラブ(阿知須町)
- OMVC(小郡町)
- ▽町内オープンテニス大会(8/26、町体協、町教委主催)

わたしたち スポーツ仲間

バドミントンクラブ

わがクラブは、十数年前に教室という形でスタート。そして同好会。現在は、クラブという形で活動をしています。

わがクラブの目的は、バドミントンの普及並びに振興を図るとともに会員相互の親睦を深めることにあります。活動状況は、山口市、吉敷郡、小郡町、山口県の各大会への参加、その他レクリエーションとしてボーリング、冬はスキーへ挑戦しています。

バドミントンと聞くとほとんどの方が、屋外でしている羽根突きを連想されると思いますが、本当は過激なスポーツであり、頭脳ゲームである反面、自分の



能力に応じて楽しめるスポーツです。

興味のある人は私たちと一緒に汗を流してみませんか。初心者、家庭婦人大歓迎いたします。(このたび、新しく家庭婦人の部を結成したいと思えます)

○練習日
毎週水曜 日午後八時～九時半(阿知須中学校体育館)

○会費 月額七百円(登録料五百円)

○連絡先 吹上義男(縄田南) ☎四四六八、(内)三七二一
入会をお待ちしております。

- 男子A①末永・佐藤組②前田
- 黒田組③兼重・中野組
- 男子B①須原・伊東組②国重
- 又野組③岡本・森重組
- 女子A①高井・兼重組②金子
- 中原組③中本・上野組
- 女子B①岡藤・縄重組②村田
- 引藤組③岡本・金沢組
- ☆今月の学級教室
- 乳幼児学級
九月五日(水) 午前九時半から町公民館
- 高齢者教室
九月六日(木) 午後一時半から町体育センター
- 練習日
毎週水曜 日午後八時～九時半(阿知須中学校体育館)
- 会費 月額七百円(登録料五百円)
- 連絡先 吹上義男(縄田南) ☎四四六八、(内)三七二一
入会をお待ちしております。
- 九月二十七日(木) 午前九時半から町体育館前広場
高齢者大運動会
- 親子読書
九月九日(日) 午前十時から町公民館
- 婦人学級
九月十八日(火) 午前九時半から町公民館
- 10月7日に変更
近郷バドミントン大会
九月九日(日) に行われる予定の近郷バドミントン大会は都合により十月七日(日)に変更させていただきます。

町内長寿番付



| | 阿知須校区 | 井関校区 |
|------|------------------|----------------|
| 横綱 | 松浦 萬治 (25年、砂三) | 哥川 スエ (17年、河内) |
| 張出横綱 | 磯崎 弥作 (27年、縄南) | 西村 仁作 (26年、野口) |
| 大関 | 国平 サツ (28年、南祝) | 福田 優一 (27年、杖川) |
| 張出大関 | 江口 茂一兵衛 (28年、中村) | 永山 ヒノ (29年、門松) |
| 関脇 | 吉村 シノエ (29年、砂三) | 藤田 キヨ (30年、引野) |
| 張出関脇 | 寺田 ミツエ (29年、砂三) | 古谷 フシ (30年、赤迫) |
| 小结 | 縄中 惣太 (29年、小西) | (白松苑) |
| 張出小结 | 仲西 シモ (30年、南祝) | 高重 ツ子 (26年) |
| 前頭筆頭 | 金澤 ユキ (30年、南祝) | 福富 ハナ (27年) |
| ノ二枚目 | 河村 スギ (31年、南祝) | 岡村 カツノ (29年) |
| ノ三枚目 | 井上 アキノ (31年、北祝) | 東 マサ (29年) |
| ノ四枚目 | 平海 アサノ (31年、小西) | 空野 ソヨ (29年) |
| ノ五枚目 | 國光 スミ (31年、砂三) | 川口 ヤス (29年) |
| | (番付は年月日の順番で編成) | 大下 タキ (29年) |
| | ()内の生年は明治、住所 | 原田 アキ (29年) |
| | | 古谷 イワ (29年) |
| | | 仁保 セキ (30年) |
| | | 浅原 茂 (30年) |
| | | 中川 キシノ (31年) |
| | | 田頭 フテ (31年) |
| | | 河合 ヨネ (31年) |



9月14日に町敬老会

該当者は711人

九月十五日から二十一日までは「老人福祉週間」です。町では本年も九月十四日に町公民館で長寿をお祝いする敬老会を開きます。

当日は町敬老年金証書の交付などの式典と湯田簡易保険センターで人気のある市川富士夫一座による余興があります。弁当も出ます。

該当者は七十五歳以上のお年寄り七百十一人(男性二百三十四人、女性四百七十七人)です。

町内長寿夫婦

(夫婦の合計年齢 171歳以上)

| | | |
|----------------|-----|----|
| 1, 武永 耕輔 (90) | 179 | 旦東 |
| ミトメ (89) | | |
| 2, 西村 哲夫 (91) | 174 | 砂三 |
| 千代子 (83) | | |
| 2, 田邊 悦雄 (89) | 174 | 岩西 |
| 国香 (85) | | |
| 4, 古谷 俊一 (91) | 173 | 引野 |
| シマ (82) | | |
| 5, 塩谷 亀次 (87) | 172 | 東 |
| タツコ (85) | | |
| 5, 亀村 美代次 (89) | 172 | 浜 |
| ヤス子 (83) | | |
| 5, 原田 千代治 (87) | 172 | 岩上 |
| キヌ (85) | | |
| 5, 西村 計一 (91) | 172 | 河内 |
| タカコ (81) | | |
| 5, 西村 滋 (89) | 172 | 源河 |
| 孝子 (83) | | |
| 10, 上野 倉次 (88) | 171 | 岩前 |
| 澄子 (83) | | |
| 10, 藤本朝太郎 (88) | 171 | 岡 |
| コノ (83) | | |
| 10, 吉本 金雄 (86) | 171 | 焼野 |
| ノフエ (85) | | |



米寿(88歳)は23人

明治三十五年四月一日から明治三十六年三月三十一日まで

でに生まれた人が、本年度中に米寿(八十八歳)を迎えることになりましたが、本町の該当者は二十三人です。(敬称略)

| 氏名 | 生年(明治) | 住所 |
|--------|--------|-----|
| 重富 サツ | 三五年 | 恵比須 |
| 繩田 アサコ | 三五年 | 恵比須 |
| 塩谷 亀次 | 三五年 | 東 |
| 上野 竹之進 | 三五年 | 東 |
| 上野 倉次 | 三五年 | 東 |
| 辻田 サト | 三五年 | 東 |
| 田中 茂子 | 三五年 | 東 |
| 福増 義明 | 三五年 | 東 |
| 重村 ミツ | 三五年 | 沖の原 |
| 村田 サツキ | 三五年 | 沖の原 |
| 田中 夏一 | 三五年 | 沖の原 |
| 繩田 ミツエ | 三五年 | 沖の原 |
| 沖永 ミツエ | 三五年 | 沖の原 |
| 魚谷 喜市 | 三五年 | 沖の原 |
| 弘中 ヒデコ | 三五年 | 沖の原 |
| 藤田 カノ | 三五年 | 沖の原 |
| 竹本 キクノ | 三五年 | 沖の原 |
| 磯部 ユリコ | 三五年 | 沖の原 |
| 中谷 ヒデノ | 三五年 | 沖の原 |
| 岩本 タキ | 三五年 | 沖の原 |
| 藤重 タカ | 三五年 | 沖の原 |
| 藤井 ハル子 | 三五年 | 沖の原 |
| 三隅 タケノ | 三五年 | 沖の原 |
| 井関 東 | 三五年 | 沖の原 |
| 旦 東 | 三五年 | 沖の原 |
| 岩 東 | 三五年 | 沖の原 |
| 岩 前 | 三五年 | 沖の原 |
| 縄 南 | 三五年 | 沖の原 |
| 砂 三 | 三五年 | 沖の原 |
| 砂 一 | 三五年 | 沖の原 |
| 岩 上 | 三五年 | 沖の原 |
| 門 松 | 三五年 | 沖の原 |
| 沖の原 | 三五年 | 沖の原 |

市川富士夫

一 座

出し物

- 一部 長編舞踊
- 落城の舞
- 新舞踊シヨ一
- 二部 唄とおどろ
- 三部 時代人情劇
- お種と仙太郎

築堤用土砂を運搬

干拓地造成工事で9月中旬から

昭和六十三年度から行われている阿知須干拓地内への浚渫土砂送り込みの築堤用土砂の運搬が始まります。

これは運輸省の港湾整備事業の一環として行われるもので、この工事は築堤の材料となる真砂土を大型のダンプトラックで青畑付近から干拓地

内に運搬するもの。今回は北工区が対象で、工事の規模は築堤延長約三千メートル、真砂土にして十三万九千立方メートルです。

工事期間と時間

九月中旬から来年の三月までの七か月間で、この期間中、殆んど毎日土砂を運びます。

運搬用ダンプ

十一トン積の大型ダンプトラックで、一日約三十台がひんばんに往き来することになります。

また、県土地開発公社も埋め立てのための土砂運搬を十月初ころから予定をしています。が、トラックの台数については両方で調整をして、一日約三十台を守るようにしています。

運搬経路（下図参照）

町内青畑および善和から土砂を積み込んだダンプは、県道善和阿知須線（温泉道）を走り、役場前の信号機を左折し、県道阿知須東岐波線に出ます。そして、飛石地区の町道縦貫線の三差路を右折し、干拓地内に入ります。帰りはこの順路の逆です。

事故防止には万全を

第四港湾建設局では、工事の期間中交通事故防止について注意を払い、特に通学路や通学時間帯、危険箇所には万全を期すことになっています。また、期間中は交通量が増

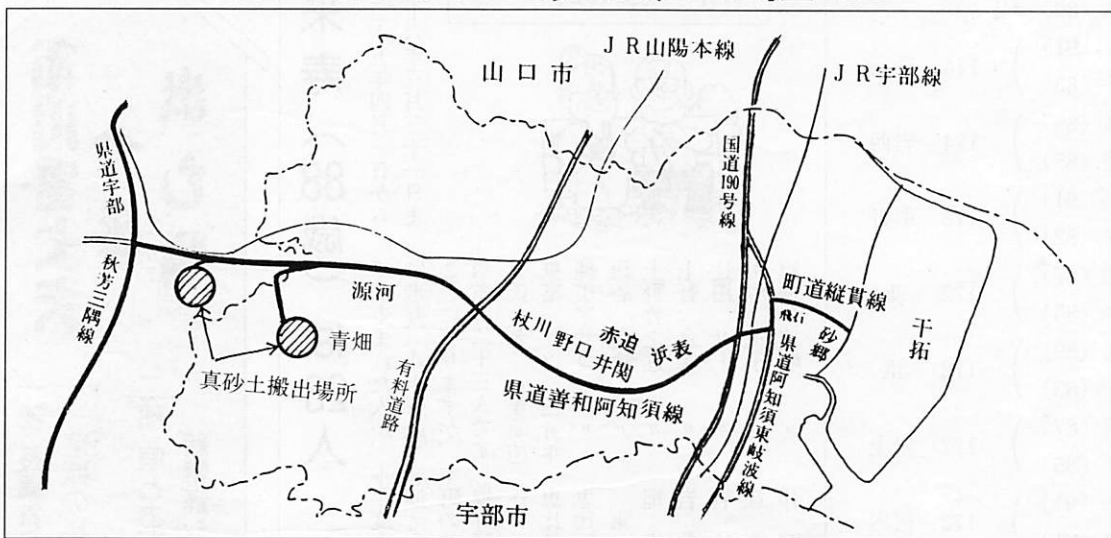
交通事故防止にご協力を

え、町民のみなさんにはご迷惑をおかけしますが、工事の必要性をご理解いただき交通事故防止にご協力をお願いします。

なお、工事の期間中お気づ

きの点がありましたら、第四港湾建設局宇部工事事務所（☎55-5191）か町交通防災係（☎55-4111（内）211-3）までご連絡ください。

築堤用土砂搬入経路



町職員の異動

（8月31日付）

▽退職 竹原貞子（給食センター）

ハローワーク山口へ

援護制度などの問い合わせ 九月は「障害者雇用促進月間」です。身体に障害のある人が、適性、能力に応じた職業に就き、その職業に生きがいを感じ充実した日々を過ごせるように、事業主をはじめ周囲の人々の理解と協力を促す運動月間です。

阿知須町を管轄する山口公共職業安定所（ハローワーク山口）は、管内企業で活躍している障害者の状況を紹介する写真、パネルを展示しています。

障害者を雇った場合、事業所や事業主に各種の援護制度があります。問い合わせはハローワーク山口（〒七五三山口市神田町一番七十五号 ☎八三九〇〇〇四三）へどうぞ。

求む！子犬の里親

山口保健所では今年も飼犬の野犬化防止対策として「子犬の里親さがし」をします。生まれた子犬の里親を求めたり、これから犬を飼おうとさ